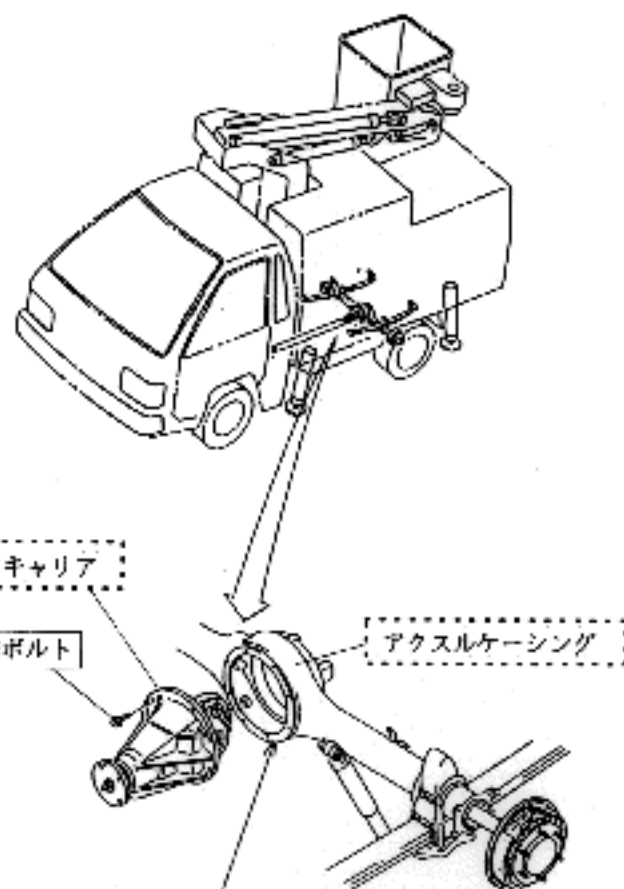


改善箇所説明図

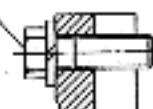


基準不適合発生箇所

動力伝達装置において、後車軸のアクスルケーシングとデフキャリアの締結構造が不適切なため、過酷な加減速を繰返した場合、当該締結部のボルトが緩みオイルが漏れ、最悪の場合、終減速機が焼付いて走行できなくなるおそれがある。

改善前

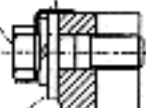
ボルト
(M8)



改善後（締結ボルト8本）

回り止めプレート

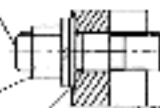
ボルト
(M8)



スペーサー

改善後（締結ボルト10本）

スタッドボルト
(M10)



ナット

スペーサー

改善内容： 締結部のボルトが8本のものについては、全車両、当該ボルトを対策品と交換すると共にスペーサー及び回り止めプレートを追加装着する。また、締結部のボルトが10本のものについては、デフキャリア及びアクスルケーシングを対策品と交換する。

注：□内は対策部品を示す。

.....内は締結ボルトが10本のものの交換部品を示す。